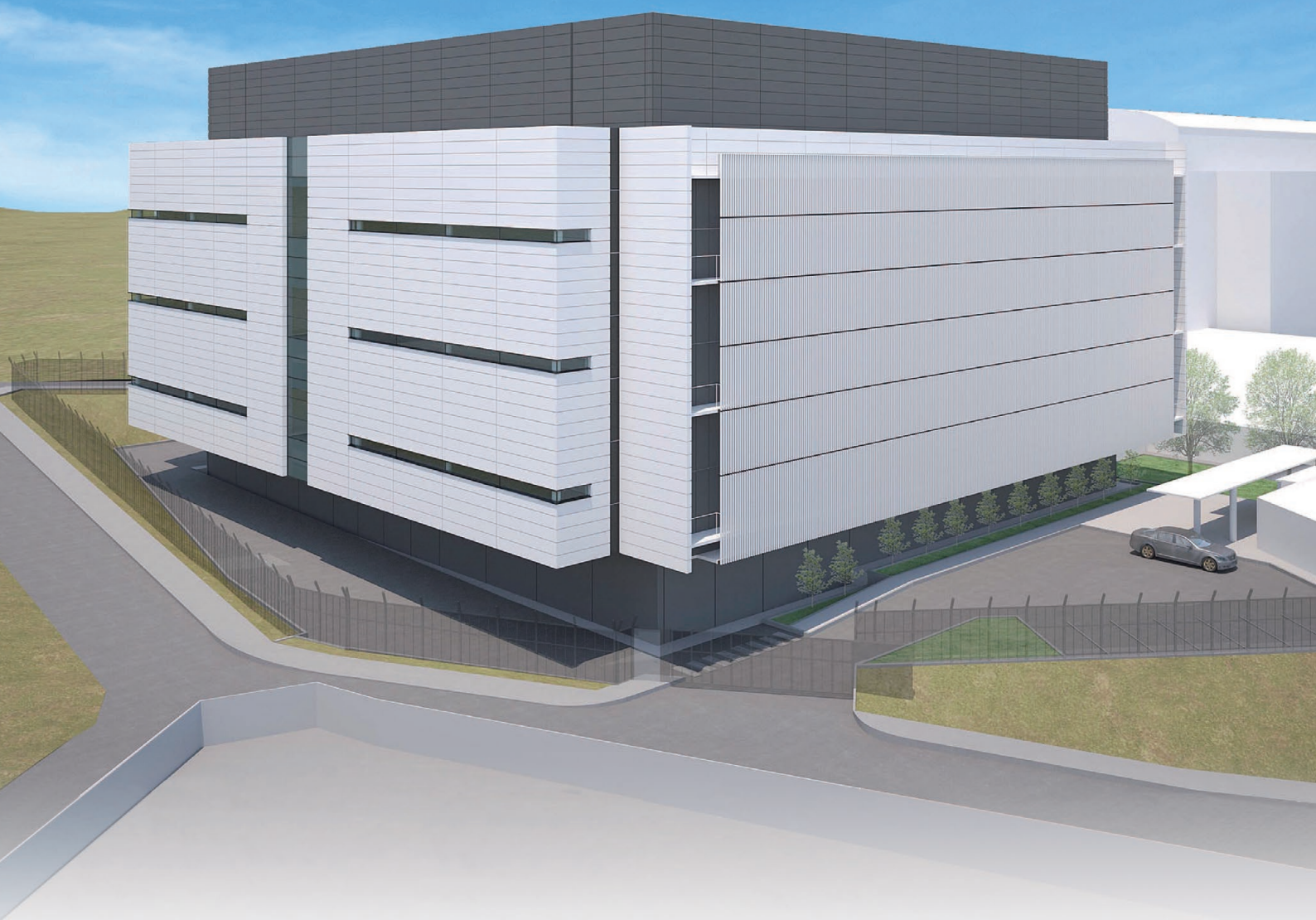


netXDC 三田第2センター

[関西地区]

最大 1,500 ラック規模！
優れた立地に最先端のファシリティを兼ね備えた
関西圏の郊外型大規模データセンター

JDCC
ファシリティ
スタンダード
ティア4



お客様の事業運営をタイムリーかつ包括的にご支援する

“ハイブリッド”データセンター、誕生！

LOCATION

大阪から最短52分

netXDC 三田第2センターは、公共交通機関の利用により大阪から最寄駅まで最短42分という良好なアクセス性を有しており、最寄駅からはSCSK専用シャトルバス(10分)の利用が可能です。

また、上記以外に神戸を経由するルートがあり、公共交通機関の利用により三宮からは最短65分で当センターへのアクセスが可能です。

自然災害に強い地域

当センターは、神戸層群を支持層とした丘陵地に位置しています。活断層や水系からも十分な距離があり、地震や津波といった被災リスクが極めて低い、自然災害に強い地域です。



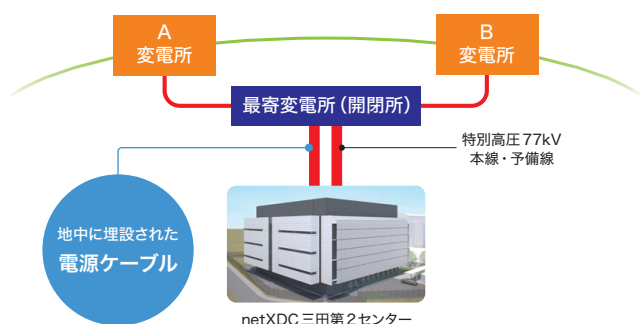
海拔 **236 m**、
河川からの距離
約 **700 m**

南海トラフ巨大地震
対策推進地域
指定外

FACILITY

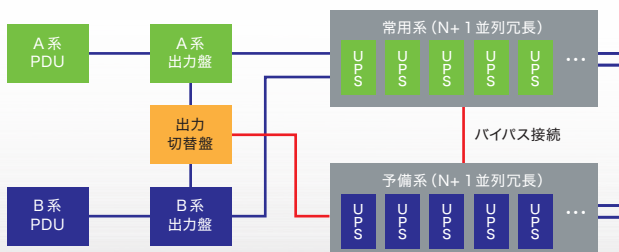
受電設備

地中に埋設された電源ケーブルは2系統の完全二重化、無停電で設備保守や更新が可能です。受電は保守時も停電が発生しない本線・予備線方式を採用しています。万一、電力供給が停止した場合はUPSが約10分間電力を供給し、その間に自家発電機が起動します。また、空調機も2系統の電源入力になっており、点検時も系統切替により継続運転が可能です。



無停電電源 (UPS)

UPSはN+1の各UPSセットに対し、共通予備として、さらにN+1を有するブロックリダント方式を採用しています。万一、常用系UPSに障害が発生した場合は、無瞬断で予備系UPSへの自動切り替えが可能です。

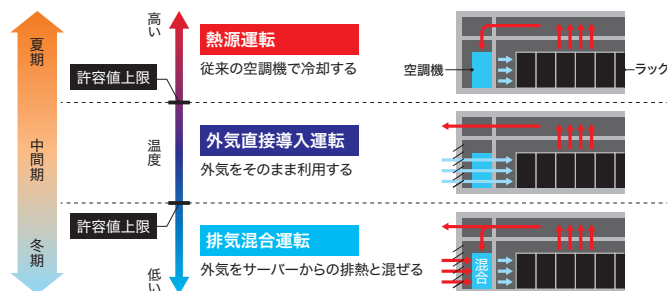


空調

外気冷房システムの導入により空調設備の消費電力を抑制。外気の取り入れと排熱を明確に分離し、冬期・中間期の外気を直接利用することで、空調熱源の負荷を大幅に削減。PUE[®]は国内最高レベルの1.3の実現を目指し、グリーンITに貢献します。

※PUE (Power Usage Effectiveness) : データセンターの電力使用効率を表す指標

データセンター
全体の消費電力
PUE =
IT機器による
消費電力



自家発電機

建屋内に設置された自家発電機は、4,500KVAのガスタービン発電機をN+1構成で設置。無給油72時間の連続稼働が可能です。また、月1回の試験稼働と、6ヶ月に1回のダミー負荷稼働を実施しており、緊急時にもスムーズに稼働することができます。※燃料優先供給契約を複数の事業者と締結済み

建屋内
設置

72時間
連続運転

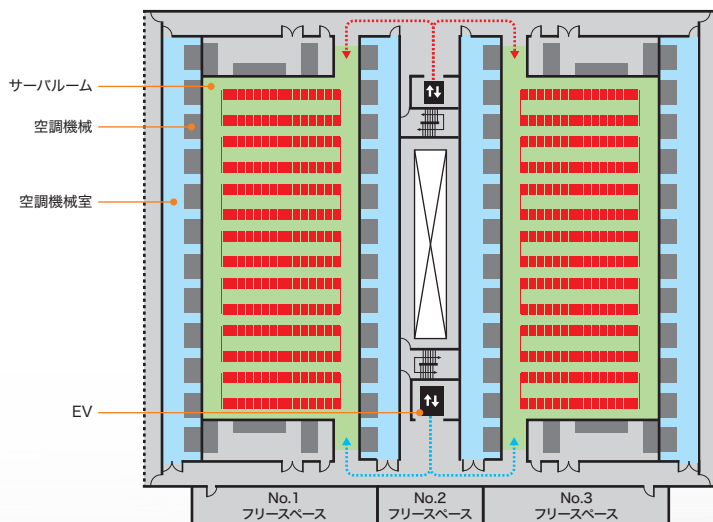


国内8拠点10センター間を張り巡らすネットワークと、高度な仮想化技術の活用により、データセンターを基盤としたハイブリッド環境をスピーディかつ柔軟に構築。netXDC 三田第2センターは、お客様のIT環境を包括的にカバーするフルアウトソーシングにより、持続的な事業価値向上に貢献します。

ニーズ・用途によって使い分ける“ハイブリッド型”での利用が可能！



BUILDING



サーバールーム

各フロアに2つのサーバールームを配置、2～4階に計6つのサーバールームを構成。
1ルーム約250ラック、1フロア約500ラック収容可能。

電力 (架)

(標準) 実効4kVA (最大) 実効8kVA

床荷重 (架)

2,000kgf/m²

電源容量

12,000kVA
2,000kVA × 2ルーム × 3フロア (1,500ラック相当)

フリースペース

サーバールームに隣接したフリースペースを各フロアに3ルーム用意。
NO.1: 79.5m² NO.2: 39.2m² NO.3: 79.5m²
オフィスルームやキティングスペース等、期間に応じた利用が可能。

サーバールーム

サーバー室の天井高は3,800mm、フリーアクセスは1,000mm。フリーアクセス内には、低圧バスダクトが設置され、大容量の電力を使う場合にも電源ケーブルが大量に絡み合うことはありません。また、ネットワークケーブルはラック上部のトレイに設置するため、フリーアクセス内に冷気の流れを邪魔するものはありません。

※空調は水冷式で、冷気が床下から吹き上げ、アイルキャッピングされたホットアイル側の天井から暖気が上へ抜ける仕組み。



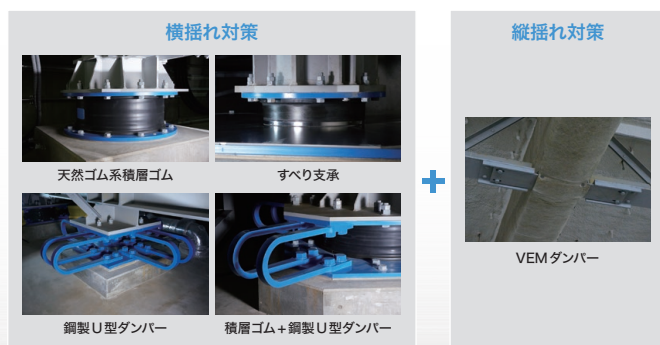
フリースペース

郊外型データセンターのスケールメリットを生かし、サーバールームに隣接したエリアには合計100m²を超えるフリースペースを用意しています。フリースペースは各フロアに3ルーム、広さの異なる2タイプ(79.5m²/39.2m²)があり、キティングスペースや執務エリアなど、幅広い用途にご利用頂くことができます。



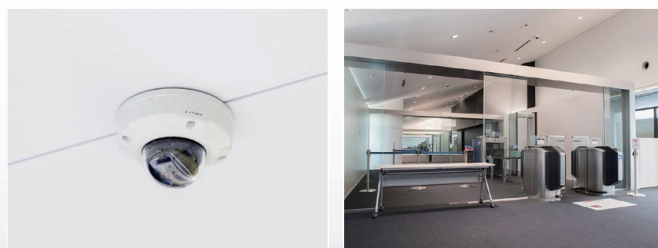
地震対策

基礎免振を組み合わせた横揺れ対策と、縦揺れ対策として、各フロアを支える垂直制振ダンパー (VEMダンパー) を取り入れることで、地震の揺れを最大80%減衰させます。



セキュリティ

カメラや各種センサーを使った24時間有人監視、X線検査機や金属探知機を使った持ち物検査、ICカードや生体認証を組み合わせた本人確認、サーバールームへの共連れ防止、セキュリティー錠によるラック開閉など、館内は8段階以上のセキュリティチェックを実施しています。また、お客様専用の対策をオプションとして追加することで、9段階以上のセキュリティチェックを実現可能です。



お客様のニーズに合わせたサービスを充実のラインナップでご提供しています

進化し続けるITサービスの実現

アドバンスト運用サービス



高度な技術力と判断力を兼ね備えたエンジニアがマルチベンダ環境を統括。安心のマネージドサービスをご提供

ベーシック運用サービス



標準化・自動化されたオペレーションを確実に遂行し、お客様へ高品質で安定したサービスをご提供

ネットワーク・セキュリティサービス



高い専門性を持つエンジニアが基盤とトラフィックをコントロールし、安定かつセキュアなネットワークサービスをご提供

監視・通報サービス



お客様のシステムやサービスをあらゆる側面から監視。迅速・正確に通知を行うことで、ITによるビジネス影響の最小化へ

ファシリティサービス



堅牢な建物や冗長化された電源・空調設備をベースに、お客様のビジネスニーズに対応できる柔軟なサービスをご提供

ソリューションサービス



運用コンサルティングからデータセンターの最適化まで、事業の成長を強力に支援する幅広いソリューションサービス

クラウドサービス (USiZE)



netXDCをベースとした基幹業務向けマネージドクラウド、及びパブリッククラウド (AWS/Microsoft Azure) をご提供

セキュリティサービス (SOC)



24時間365日の監視・インシデント検知、及びセキュリティアナリストによるリアルタイムの脅威分析サービスをご提供



「ITIL®を活用したきめ細やかで真心のこもったサービス」をご提供するために、SCSKグループが他業種で培った豊富なシステム運用ノウハウと、ITIL®をベストプラクティスを融合して誕生した運用ポリシー、「HEARTIL (ハーティル)」をベースとしたITサービスマネジメントを実施しています。

Product



HEARTIL Management Center

ITサービスマネジメント基盤とWebポータルによって、ITサービスの健全性を可視化。見えるマネジメントを実現

Process



継続的サービス改善

安定したITサービスを継続してお客様へご提供するために、netXDCではITサービスの品質を改善するための活動を実施

People



サービスマネージャ

ITサービスを通じ、お客様の企業価値向上に貢献することができる人材、「サービスマネージャ」を育成

安定したITサービスの証明

※ HEARTIL (ハーティル) は、「ITIL®を活用した、きめ細やかな真心サービス」を提供するために、SCSKグループが多業種で長年培ってきた豊富なシステム運用ノウハウと、ITIL®のベストプラクティスを融合させて構築した、SCSKオリジナルの運用ポリシーです。

※ HEARTIL: 「HEARTY」(心からの、誠意のある、力強い) + ITIL®の造語です。

施設概要

竣工	2018年12月(予定)	
建物	延床面積	約13,600㎡
	規模	地上5階、地下1階(内、サーバールームは3フロア)
	構造鉄骨造	基礎免震
	耐震性能	各種免震装置、VEMダンパーにて最大80%まで減衰
	床荷重	2,000kgf/㎡
	天井高	3,800mm
	床下高	1,000mm
電源	受電設備	特別高圧77kV 本線・予備線受電
	自家発電機	ガスタービン発電機(無給油連続72時間稼働)
	無停電電源(UPS)	ブロックリダント方式(10分保証)
	設備容量	12,000kVA(1,500ラック相当)

空調	空調方式	水冷式セントラル空調
	構成	N+2冗長化構成
	気流方式	床下吹上+天井リターンチャンバー方式
	漏水対策	サーバ室と二次空調機械室を明確に区分、二次空調機械室には漏水センサー設置
環境管理	温度/湿度	26℃以下/20%RH70%RH
環境配慮	LED照明、井水利用などの省エネ施策を最大活用	
防火	火災検知	超高感度煙検知システム+自動火災報知システム
	消火設備	窒素ガス消火設備
セキュリティ	X段階のセキュリティチェック(金属探知機、X線検査機含む)	
認証	● JDCC ファシリティスタンダード ● ISO/IEC20000 (ITSMS)	
	● JISQ15001 (プライバシーマーク) ● ISO/IEC22301 (BCMS)	
	● ISO9001 (品質)	
	● ISO/IEC27001 (情報セキュリティ) ※ 竣工後、外部機関による審査を受審予定	